

360°+後方 同時録画機能付き

11.88インチ デジタルルームミラー

【 取 付 説 明 書 】

MDR-I003

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目 次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	4
■取付について	7
・安全上のご注意	8
・付属品	11
・作業の進め方	11
・本体の動作確認	12
・本体の取付	12
・配線イメージ	14
・配線方法	15
・リアカメラの設置例	16
・取付時のご注意	17

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとリアカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。イベント映像（手動、衝撃検知）も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて（上書きされて）しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合

※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。

- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
- 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合

※9.10.相手車両が軽かったり（自動車対人、自動車対自転車など）、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

使用上のご注意

11. 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

12. 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

13. 本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

■本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。

■故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

■録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。

■運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。

■本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。

microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。

■本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。

■記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。

使用上のご注意

【microSDカード(別売)について】

- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。



警告

- 本機はDC12/24Vマイナスアース車専用です。(リバース連動線12V対応のみ)
12V普通車と大型トラックや冷却地仕様のディーゼル車などの24V車専用です。
上記以外のお車にはご使用いただけません。火災や事故の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

安全上のご注意



- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

- microSDカードを抜く場合はエンジンオフ(ACCオフ)後、画面が黒くなってから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ずエンジンオフ(ACCオフ)になっていることを確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあてないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

取付について

■お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の実装には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取付けをお勧めします。
- ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みの上、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 定期的に取り付け状態を点検してください。

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。
(サポート:support@maxwin.jp)
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤーが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取付けには、寸法の合う工具をお使いください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

説明書に記載されている注意事項を守っていただけないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますのでご注意ください。

正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

■守っていただきたい内容を、次の図記号で説明しています。

 **禁止** してはいけない
内容です。

 **実行** しなければならない
内容です。

 **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定される内容を示します。

 **本機はDC12/24Vマイナスアース専用です**
12V普通車と大型トラックや冷却地仕様のディーゼル車などの24V車専用です。
上記以外のお車には使用できません。火災や事故の原因となります。

 **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください**
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

 **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください**
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

 **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

 **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。**
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

 **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください**
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

安全上のご注意(必ずお守りください)



車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。



エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください

車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバック動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際に、エアバックシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。



電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対止めてください

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。



本機を分解したり、改造しないでください

事故、火災、感電の原因となります。



ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変なにおいがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください

ショートにより、火災、感電の原因となります。



コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください

テアリングシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

安全上のご注意(必ずお守りください)



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される内容を示します。



本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。



しっかりと固定できないところや振動の多いところやリアウィンドウに張り巡らされた熱線への取り付けは避けてください

本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。



湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください

本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。



コードが金属部に触れないように配線してください

金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。



コード類を決して途中で切断しないでください

コード類には、ヒューズなどが付いている場合がありますので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

付属品

本体 		取付ゴム 
車外リアカメラ 	車内リアカメラ 	車内リアカメラ角度調整アダプター 
シガーアダプター 	GPSアンテナ 	リアカメラ接続ケーブル 

- 本書で使用している写真は、実際の製品と異なる場合があります。
- 仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

作業の進め方

1. 同梱物を確認する(→付属品)
2. 動作確認を行う(→本体の操作確認)
3. ミラー本体を車両に取り付ける(→取付方法)
4. リアカメラを車両に取り付ける(→配線方法/カメラの設置)
5. シガーアダプターを接続して電源を入れる
6. カメラ角度を微調整する(→カメラの設置)

本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するかを確認ください。

1. 本体にシガーアダプター、フロント/リアカメラ、GPSアンテナを接続する。
2. シガーアダプターをシガーソケットに接続する。
3. microSDカードを装着する。※1、※2
4. 本体を動作確認する(各カメラ、録画、GPS捕捉) ※3
5. 電源OFFする。各パーツを外し、本取付を行う。

※1.microSDはClass10以上、8~128GBまでのカードをご利用ください。

※2.SDカードは本体からフォーマットを行ってください。

※3.録画中は設定操作できません。録画停止してから設定を行ってください。

本体の取付

本体を取り付ける前に仮配線して動作確認してください。

車両の内装、ピラーの外し方は各自動車メーカーにご相談ください。

1 本体裏面



2 取付ゴムを取り付け固定具の上側に引っ掛けます。



※写真は汎用品です

本体の取付

- 3** 純正ミラーを挟み込んで、取付ゴムを取り付け固定具の下側に引っ掛けます。

※取り付けの際、本体をしっかりと支えながら取り付けてください。

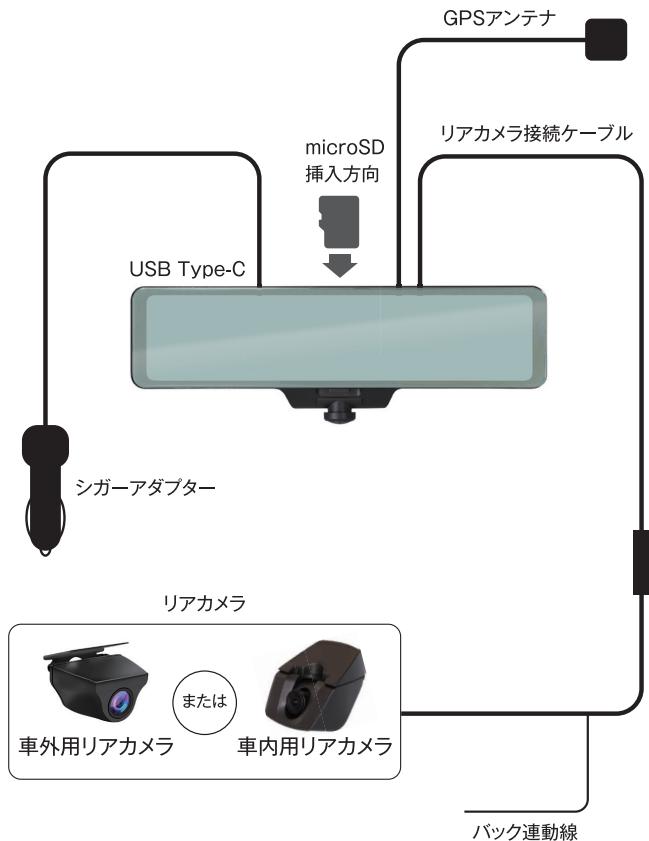


- 4** もう一方の取り付け固定具にも取付ゴムを設置し、本体の位置を調整します。
※取り付けの際、本体をしっかりと支えながら取り付けてください。



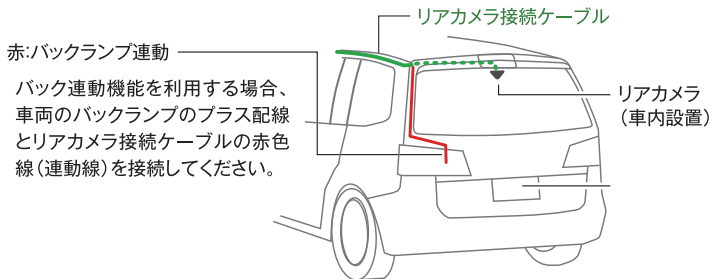
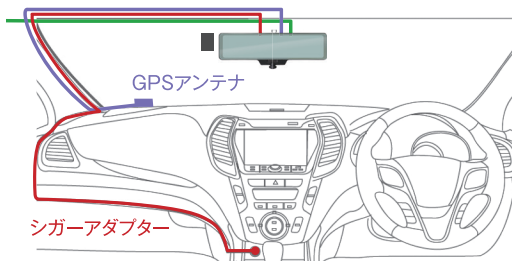
- 5** 本体が確実に装着されていることを確認のうえ、使用してください。

配線イメージ



配線方法

- 1 天井裏やピラー内部を這わせてケーブルを通します。
フロントカメラはフロントガラスに、GPSアンテナはダッシュボードに設置します。
シガーアダプターはシガーソケットに接続します。
- 2 同様にリアカメラ接続ケーブルをピラー内部を這わせて後部に通し、リアカメラに接続します。



※バック連動線は適度な長さにカットしての使用も可能です。

※24V車の場合は連動線先にDC・DC (24V→12V) コンバーターをご使用ください。

※バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線を行なってください。

リアカメラ及びケーブルに損傷ができるとカメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。

リアカメラの設置例

車外設置用リアカメラの場合 ※MDR-I002A

ナンバープレート上部に両面テープで設置します。※ネジで固定することもできます。

●取付例



車内設置用リアカメラの場合

リア窓ガラス内側に両面テープで貼り付けます。

※車内設置用リアカメラは防水対応ではありません。窓ガラスの内側に貼り付けてください。

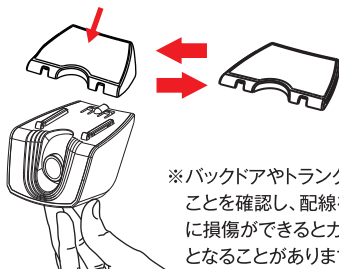
●取付例

度調整可能



角度調整アダプター

※アダプターをスライドさせて外します。



※リアウィンドウの形状によって、付属品の角度調整アダプターを使用してください。



※バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線を行なってください。リアカメラ及びケーブルに損傷ができるとカメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。

取付時のご注意

1. 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
2. ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
3. 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
4. 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
5. 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
6. 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
7. 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
8. 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
9. 本製品を動作するには定格DC12/24Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
10. 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディーと接触するとショートします。
11. リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。
12. 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
13. シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12/24V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本体故障の原因になることがあります。

MAXWIN

360°+後方 同時録画機能付き

11.88インチ デジタルルームミラー

【取扱説明書】

MDR-I003

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

ご 注 意

- ・ 本機の取り付け、撮影映像の確認にはスマートフォンまたは、パソコンが必要になります。予めご用意ください。
- ・ 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源オフしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。
- ・ 電源オンの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。
- ・ 必ず1～2週間に一度、本機でmicroSDカードのフォーマットを行ってください。
- ・ 電源が切れない状況またはフリーズした場合は、リセットボタンを押して初期化してください。
- ・ 「緊急録画モード」が起動したらLEDインジケーターが青くフラッシュし、3分間の間、動画を録画し続けます。本体マウントから外しても電源は落ちません。
- ・ 録画した動画が見当たらない場合、「緊急録画フォルダ」に保存されている可能性があります。ご注意ください。
- ・ 本機をご使用後は必ず取り外して、炎天下の車内または高温になる場所に放置しないでください。

使用上のご注意

【microSDカードについて】

■microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。

※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。安定してご使用いただくため、定期的にmicroSDカードを本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。

■本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。

■microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。また、データが消失、破損したことによる被害につきましても、弊社ではいかなる責任も一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
付属のmicroSDカードにつきましては、購入特典としての同梱物となりますので、別途ご用意いただくことをお勧めいたします。

お 知 ら せ

**取扱説明書の
最新バージョンは以下のURLから
ご確認ください。**

※取扱説明書のダウンロードファイルはPDF形式になります。

<https://maxwin.jp/download/116662/>



目 次

■本体各部名称	1	■再生モード	11
■microSDカードの挿入・取り出し ...	2	■PCビューワーの使用	12
■電源のON/OFF	3	■microSDカード内 ファイル構成	15
■画面モード	4	■トラブルシューティング	16
■ビューアモード	5	■製品仕様	18
■録画モード	6	■ファームウェアについて	19
■設定メニュー	7	■商品保証書	20
■バック連動	9		
■駐車監視モード	10		

本体各部名称



- | | | |
|---|-------------|--|
| ① | miniUSBコネクタ | 電源入力端子 シガーアダプター接続 |
| ② | 2.5mmコネクタ | 使用しません |
| ③ | microSDスロット | micro SDカードを挿入します
(最大128GB (Class10かつFAT32) まで対応) |
| ④ | 3.5mmコネクタ | GPSアンテナ接続 |
| ⑤ | 2.5mmコネクタ | リアカメラ延長ケーブル接続 |
| ⑥ | 液晶モニター | 11.88インチミラー型タッチパネル |
| ⑦ | 電源ボタン | 長押しで電源ON/OFF、短押しで画面表示ON/OFF |
| ⑧ | 360°カメラ | 動画や静止画を撮影します |
| ⑨ | 取付ゴム固定具 | 取付ゴムを引っ掛けて本体を固定します |
| ⑩ | リセットボタン | 本体がリセットされます※ |

※本体が正しく動作しなくなった時にリセットしてください。強制的に再起動します。

microSDカードの挿入・取り出し方法

■microSDカードを挿入する

microSDカードは下図の向きでカードスロットに挿入します。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



■microSDカードを取り出す

車両のエンジンを停止し、ミラー本体の電源をOFFにします。

microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。

※無理な力で行うと破損の原因になります。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



■使用できるmicroSDカードについて

本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」をmicroSDカードと総称して表示しています。

本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。

・microSDHCカード

容量:8～32GB、スピードクラス:CLASS10以上

・microSDXCカード

容量:32～128GB、スピードクラス:CLASS10以上

※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行なってください。

電源のON/OFF

■電源ON

車のエンジンを始動（ACCをON）すると自動的に起動します。
起動と同時に録画が自動的に始まります。



電源ON

■電源OFF

車両のエンジンを停止（ACCをOFF）、または電源ボタンを長押しすると電源OFFになります。



電源OFF

録画中マークについて

録画中は赤色の丸が点滅表示されます。

画面モード

■画面モード

◎カメラモード

エンジンをかけると、液晶画面にカメラ映像が表示されます。

※カメラのビューアモードを選択すると、モードが記憶されます。

◎ミラーモード

液晶画面をOFFにすればルームミラーとして使用できます。

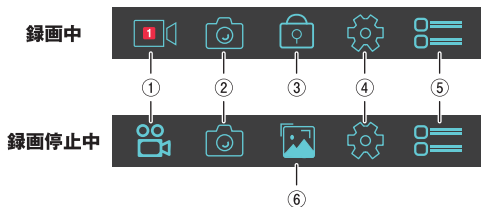
※録画モードで電源ボタンを短押しすると画面表示がOFFになります。

(録画は継続しています)

※スクリーンセーバー設定が「1分」または「2分」の場合は、設定した時間経過後に画面が自動的にOFFになります。

■メニューアイコン

カメラモード中に画面をタッチするとメニューアイコンが表示されます。



① 録画開始/停止

② 静止画撮影

③ 録画中のファイルをロック

④ 設定メニューへ移動※録画中は操作できません。

⑤ ビューアモード切替

⑥ 再生モードへ移動

ビューアモード

本機では下記の4つのビューアモードがあります。

1.ワイドアングルモード



※ワイドアングルモードでは360°カメラ映像の角度調整ができません。

2.球面モード



※360°カメラを下向きにして円形で撮影します。

3.左中央右



※後方と左右を表示します。

4.マルチウインドウモード

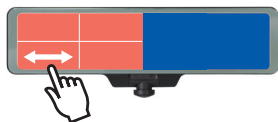


※マルチウインドウモードでは、360°カメラ映像部分を素早く2回タッチすると、画面の1/2に拡大して表示されます。

- リアカメラ映像の部分を素早く2回タッチすると全画面に表示され、上下にスライドするとアングル調整できます。再度素早く2回タッチすると元の表示に戻ります。
※360°カメラ映像は全画面表示できません。



- ワイドアングルモード以外のモードでは、360°カメラ映像の部分を左右にスライドすると映像の角度を回転できます。



録画モード

■常時録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。

1分間のループで録画します。

microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。



■緊急録画

録画中、「」ボタンをタッチまたは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を検知すると、緊急モードで録画を開始します。

約30秒の緊急録画を保存した後、常時録画に戻ります。



※ロックされたファイルは上書きされません。

必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンに保存してください。

ご注意

- Gセンサー感度が「高」に設定されている場合、衝撃を検出しやすくなります。
Gセンサー感度が「低」に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
- Gセンサーによる衝撃検知で撮影された映像や、ファイルロックされたデータは保護ファイルとして保存され、上書きされません。
ロックされたファイルが増えると、緊急録画ファイルを保存することができなくなりますので、必要に応じてファイルを削除してください。

設定メニュー

設定	
	 輝度 ☒ 低 ☐ 中 ☐ 高
	 Gセンサー感度 ☐ 低 ☒ 中 ☐ 高 ☐ オフ
	 フリッカレス ☐ 50Hz ☒ 60Hz
	 音声録音 ☐ オフ ☒ オン
	 リヤカメラ ☒ 鏡像 ☐ 正像
	 スクリーンセーバー ☐ 1分 ☐ 2分 ☒ 常時表示

■輝度

モニター画面の明るさを高/中/低から選択します。

■Gセンサー感度

衝撃感知動画が作動する感度を設定します。

※オフに設定した場合はGセンサーは起動しません。

高: 衝撃を検出しやすくなります。

低: 衝撃を検出しにくくなります。

■フリッカレス

照明の明滅による明るさのちらつき(フリッカー現象)の影響を低減設定します。

電源周波数は、東日本は50Hz、西日本は60Hzとなっています。

■音声録音

録画中の音声記録をする/しないを選択します。

■リヤカメラ

リアカメラの映像表示を鏡像/正像から選択します。

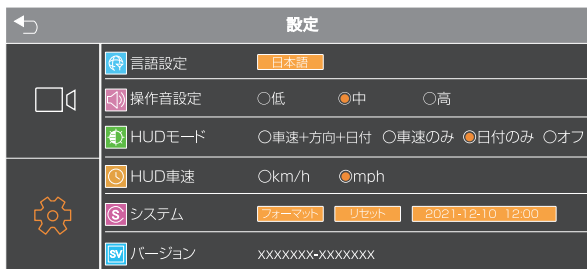
■スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定時間を選択します。

※常時表示に設定するとモニター画面が常時表示します。

※スクリーンセーバー機能により自動的に画面オフになっても録画は継続します。

設定メニュー



■言語設定

表示言語を選択します。

■操作音設定

操作音の音量を設定します。

■HUDモード

HUDモードを設定します。

車速+方向+日付/車速のみ/日付のみ/オフを選択します。

■HUD車速

km/h/mphを選択します。

■システム

フォーマット: SDカードをフォーマットします。

※SDカードに保存されている全てのデータが削除されます。定期的にバックアップしてください。

リセット: 工場出荷時の設定に戻します。

日付と時刻を設定します。

■バージョン

製品のバージョンを表示します。

バック連動

バック連動線を接続している場合、バックギア入力時にバック補助線が表示されます。



通常時



バックギア入力時

■バック連動画面のアングル調整

初期設定では、バック連動時にバック画面のアングルが一番下に向いています。

バック時のアングル角度も手動で調整可能です。

調整後にバック連動すると画面がその角度で表示されます。

別売の3芯電源ケーブルを使用することで駐車監視モードを起動させることができます。

ケーブルを接続し本体の電源がONの時にエンジンを停止する(ACC電源がOFFになる)と画面にアイコンが表示され、『駐車監視G』『駐車監視T』を選択すると約1分後に駐車監視スタンバイ状態に入ります。



駐車監視中に衝撃を検知すると、約30秒間緊急録画を行います。
緊急録画後、再び駐車監視スタンバイ状態に入ります。

① 駐車監視G (Gセンサー)

駐車中当て逃げなど、駐車中の車に衝撃が加わった場合、その前後の映像を保存します。

② 駐車監視T (タイムラプス)

コマ落として撮影でデータ量が大幅節約、長時間録画が可能なタイムラプス録画に対応します。

※衝撃検知録画で撮影されたファイルはロックされ、上書きされません。

(録画されたファイル名の後ろにSOSが付きます。)

※ドアを閉めた時の衝撃を検知して、衝撃検知録画が動作する場合があります。

※ リアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。

再生モード

撮影した動画または静止画ファイルを本機で再生できます。

■ファイル選択

再生モードへ移動し、撮影したカメラの種類を選択します。



360°カメラ(動画)



リアカメラ(動画)



静止画

表示したいファイル名をタッチすると再生を開始します。

■動画再生画面

- ①一つ前の動画を再生
- ②再生/一時停止
- ③次の動画を再生
- ④画面表示モードメニューを表示(360°カメラのみ)
- ⑤前の画面に戻る



■静止画再生画面

- ⑥前の画像を表示
- ⑦次の画像を表示
- ⑧画面表示モードメニューを表示(360°カメラのみ)
- ⑨前の画面に戻る



■動画/静止画の削除

ファイル選択画面で削除したいファイル名を長押しすると、「削除しますか?」という文字が表示されます。
「確定」をタッチするとファイルを削除します。

※全てのファイルを削除したい場合は
カードをフォーマットしてください。



PCビューワの使用

専用のアプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で様々な表示アングルの再生ができます。

■システム要件

PCビューワを実行するためのシステム要件は以下の通りです。

- ・プロセッサ: Intel Core i5以降
- ・メモリ: 4GB以上
- ・オペレーティングシステム: Windows 7以降 (64ビット推奨)
- ・その他: DirectX 9.0以降 / Microsoft Explorerのバージョン7.0以降

※このシステム要件に記されている以外のオペレーティングシステムを実行しているパソコンでは、PCビューワが正しく機能しません。

■PCビューワのインストール

PCビューワのインストールファイル (VeseeSetup.exe) は、本体フォーマット時に microSDカードにインストールされます。

手順に従って、PCビューワをパソコンにインストールしてください。

1. アダプターを使用して、PCにmicroSDカードを挿入します。
2. インストールファイル「VeseeSetup.exe」を起動し、インストールウィザードの手順に従ってインストールを行います。インストールが完了すると、PC内に「VegoViewer」フォルダが作成されます。
3. アプリケーション「VegoViewer.exe」を開いて、PCビューワを表示します。

※デスクトップにショートカットが作成される場合があります。

※再生ソフトのバージョンやパソコンのOS等により表示や機能が異なる場合があります。

※再生ソフトの動作またはソフトインストールによるパソコンの不具合等については保証いたしかねます。コピーやインストールはご自身の責任において行ってください。



①再生リスト

動画ファイル一覧を表示します。
ファイル名ダブルクリックで再生を開始します。

②再生モード

ランダム再生やリピート再生など
再生モードを変更します。

③ファイル追加

再生リストにファイルを追加します。

④ファイル削除

選択したファイルを削除します。

⑤全削除

再生リストのファイルを全て削除します。

⑥地図表示

走行軌跡を表示します。

⑦GPS情報

日時・車速・位置情報を表示します。

⑧再生画面

画面をドラッグすると画面表示を回転させることができます。(360°カメラのみ)

⑨スクロールバー

クリック、ドラッグで任意の再生時間に移動します。

⑩Gセンサーグラフ

Gセンサーグラフを表示します。

⑪ファイル移動

1つ前/先のファイルに移動し再生します。

⑫再生/一時停止

ファイルを再生/一時停止します。

⑬停止

ファイルの再生を停止します。

⑭表示切替

カメラ映像の表示方法を変更します。

⑮表示範囲調整

映像の表示範囲を調整します。

⑯音量

バーをスライドすると音量を調整/スピーカーアイコンをクリックで消音します。

⑰ファイルを開く

動画ファイル選択ですぐに再生を開始します。

⑱画質変換

選択したファイルの画質を変換して、別ファイルで保存します。

⑲全画面表示

ファイル再生中にクリックすると全画面で表示されます。

■⑭表示切替について

360°カメラ映像再生時とリアカメラ映像再生時で表示内容が異なります。

**360°カメラ
映像再生時**



②①前方上のカメラ映像を表示

②②左右方向のカメラ映像を表示

②③前方下のカメラ映像を表示

②③再生画面を2分割表示

②④再生画面を4分割表示

②⑤パノラマ表示

②⑥ワイド画面表示

**リアカメラ
映像再生時**



②⑦正像/鏡像切替

microSDカード内ファイル構成

microSDカードには、下記のようなファイル構成で映像ファイルが保存されます。

※本機のバージョンおよびパソコンのOS等により表示が異なる場合があります。



●ファイル名について

撮影した年月日、時分秒+カメラ種類の組み合わせで作成します。



トラブルシューティング

症状	対処方法
電源が入らない	電源の接続をご確認ください。 本機に電源が供給されていない可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
液晶画面が反応しない	電源ボタンを押して一度シャットダウンし、再度ボタンを押して起動してください。または電源コードを接続しなおしてください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知してしまっています。 感度を低く設定してください。(高→低)
時計がずれている	本機を充電し、再度日時設定を行ってください。
誤作動する	本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。リセットボタンを押してください。
ブザー音が流れない	本体設定のスピーカー音量が『OFF』になっていないかご確認ください。
GPSが受信できない	●トンネル内やビルの谷間などはGPS電波を受信しづらい場合があります。開けた場所に移動してください。 ●本機を起動した直後はGPS電波を受信しづらい場合があります。しばらく経ってから再度ご確認ください。 ●車種やGPSアンテナの設置場所によってはGPS電波を受信しづらい場合があります。GPSアンテナの設置場所変更をお試しください。
信号機表示が消えてしまう	●周波数設定をご確認ください。 ●映像の記録周期とLED信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。 ●信号機表示が確認できないことによる事故やトラブルに関して、弊社は一切その責任を負いかねます。

トラブルシューティング

症状	対処方法
リアカメラが表示しない	各カメラ・ケーブルの接続をご確認ください。
他の車載機器に影響が出る (テレビが映らない等)	高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビやラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETCアンテナ等から50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。車両の各種センサー装置や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。
画面がちらつく	● 付属品以外のシガーアダプターを使用すると電源供給が不安定な場合があります。付属品のシガーアダプターをご使用ください。 ● 分岐されたシガーソケットをご使用の場合は、直接車両のシガーソケットに差し込んでご使用ください。 ● 各ケーブルの接続をご確認ください。
SDカードエラーが発生する	● SDカードをフォーマットしてください。 ● SDカードを正しく挿入し直してください。 ● SDカードを交換してください。 ● パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ● 本機を再起動してください。
フォーマットができない	● パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ● SDカードを交換してください。

製品仕様

モニター	11.88インチカラー液晶
録画解像度	《360°》1920×1920 《リア》1920×1080
記録方式	常時録画(ループ録画)、緊急録画
動画ファイル形式	.TS
メモリーカード	microSDカード (class10以上最大128GBまで対応)
使用電圧	DC12V/24V(バック連動線はDC12V)

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。

以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧・周波数）などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

MAXWIN
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは
購入された販売店または

support@maxwin.jp
へお問い合わせください。

MEMO

MEMO

MAXWIN